

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会に適用する規則は、2015年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定である。

2. 練習について

(1) 練習の時間帯は下記の通り。

	本 競 技 場	補 助 競 技 場
9月20日(日)	13:00～17:00	13:00～17:00
21日(月)	7:30～8:40	7:30～17:00
22日(火)	7:30～9:00	7:30～17:00
23日(水)	7:30～9:00	7:30～15:00

- (2) 本競技場での練習は、トラック・跳躍種目とする。補助競技場を含め競技場備え付けの用具を使用すること。ゴムチューブを使用してのスピード練習は禁止する。
- (3) 本競技場、補助競技場の芝生内ではスパイクシューズの使用を禁止する。
また、補助競技場でのハードル練習は各種目ごとに時間帯を設定する。
- (4) 投てき練習(メディスンボール等を含む)は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- (5) 練習会場での練習は事前に注意事項を遵守するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。

3. 招集について

- (1) 招集所は、メインスタンド下の室内練習場に設ける。
- (2) 種目別の招集開始時刻・完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 手順
 - ① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。同時にトラック種目出場者は腰ナンバーカードを受け取り両腰のやや後方に付けること。その際、ナンバーカードとスパイクピン等の確認を受ける。
 - ② 点呼の代理人は認めない。但し、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、第1種目の招集の前に本人が競技者係へ多種目同時出場届(プログラムの末尾に綴込み)を提出し、併せて招集を受けることができない種目の点呼(ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイクなどの検査)を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は出場する意志がないものとみなし処理する。
- (5) リレー種目
 - ① リレー種目のオーダー用紙は、各ラウンド(予選・準決勝・決勝)ともに、第1組目の招集完了時刻の2時間前から1時間前までに競技者係(招集所)に提出すること。
オーダー用紙はプログラム巻末の所定の用紙を使用すること。
オーダー用紙の提出がない場合は、棄権したものとして処理する。
 - ② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(3)②に準ずる。
 - ③ 4×400mの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつける。
- (6) トラック種目出場者の腰ナンバーカードは競技者係から受けとる。
また、男子5000m・3000mSC・5000m競歩と、女子3000m・5000m競歩は別ナンバーカードを使用する。
- (7) 招集所から競技場所への移動は、競技者係の指示に従うこと。
- (8) 止むなく棄権する場合は、招集開始時刻までにプログラム巻末の棄権届に必要な事項を記入し、競技者係に提出すること。
- (9) 競技区域内で所持または使用できない携帯電話、スマートフォン等の物品は招集所内にも持ち込まないこと。

4. 競技進行について

(1) 番組編成およびラウンドの通過について

- ① トラック競技の予選のレーン順、およびフィールド競技の決勝の試技順はすべてプログラム記載の順番とする。なお、準決勝以降の組み合わせはすべて番組編成員が行い招集所およびCゲートに掲示する。
- ② トラック競技において次のラウンドへ進出する際、その最下位で同タイム（1/100 秒単位）が生じた場合、下記の方法により進出者を決定する。
 - (ア) セパレート・レーンを使用する種目
 空きレーンがある場合・・・ 同タイムの競技者の進出を認める。
 空きレーンがない場合・・・ 写真を拡大して優劣の判断をする（1/1000 秒単位）。
 それでも決められない場合・・・ 本人または代理人により抽選する。
 - (イ) オープン・レーンを使用する種目
 同タイムの競技者全員を次のラウンドへ進める。

(2) 競技について

- ① スパイクのピンは1 1 本以内とし、ピンの長さは9mm以下で、ピンの直径の先端は少なくとも長さの半分が4mm 四方の定規に適合すること。但し、走高跳・やり投については1 2mm以下とする。
- ② ナンバーカードは配布された大きさのままユニホームの胸部と背部につけること。但し、跳躍競技に出場する選手は、胸部または背部だけでよい。
- ③ 男子5 0 0 0 m、女子3 0 0 0 mはグループスタートで行なう。
- ④ トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュ後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- ⑤ 4×1 0 0 mのマーカ―は、主催者が準備し競技前に各コーナーで出発係が配布する。競技終了後、必ず自チームのマークを前走者が取り除き、近くのごみ入れバケツに捨てること。
- ⑥ フィールド競技において、コーチの競技者に対する助言が競技の進行を妨げないようにするため、近接の観客席に「コーチ席」を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席で行なうこと。
- ⑦ 競技区域内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の機器を持ち込むことはできない。
 また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。
 なお、フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像をコーチ席以外の場所で見ると、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技区域内に持ち込むことは認めない。
- ⑧ 競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。

(3) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

男子 走高跳	1年	1m70・1m85 (練)	(競)1m75-1m80-1m83・・・	以後 3cmずつ上げる
	2年	1m75・1m90 (練)	(競)1m80-1m83-1m86・・・	以後 3cmずつ上げる
女子 走高跳	1年	1m44・1m56 (練)	(競)1m47-1m50-1m53・・・	以後 3cmずつ上げる
	2年	1m47・1m59 (練)	(競)1m50-1m53-1m56・・・	以後 3cmずつ上げる
男子 棒高跳	1年	3m20・4m00 (練)	(競)3m40-3m60-3m80-3m90・・・	以後10cmずつ上げる
	2年	3m60・4m40 (練)	(競)3m60-3m80-4m00-4m10・・・	以後10cmずつ上げる
女子 棒高跳	共通	2m50・3m00 (練)	(競)2m50-2m60-2m70～3m60・・・	以後 5cmずつ上げる

* 1位決定のバーの上げ下げは、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

- (4) 男女5 0 0 0 m競歩は競技運営上の理由により、下記のタイムを超えて周回を残している場合はフィニッシュ地点で競技を中止させる。

男子5 0 0 0 m競歩 3 0 分 女子5 0 0 0 m競歩 3 5 分

5. 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。その場合、出場競技者全員で共有できるものとする。
検査時刻は、競技開始時刻の80分前～60分前までとし、フィニッシュ側の用器具庫で行う。

6. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟競技規則により、各府県監督（当該校顧問同伴）から、所定の手続きをとるものとする。

7. 表彰について

- (1) 決勝終了後、3位までの入賞者（リレーは6位まで）は種目表彰を行うので、成績発表後直ちに受賞者席（メインスタンド下中央ロビー）に集合すること。他種目に出場中の場合は、必ず表彰係に連絡のうえ代理人を出すこと。
- (2) 表彰式では以下の表彰を行うので当該校（者）は必ず参加すること。
 - ① 総合3位までに入賞した学校（男子総合、女子総合、学年別男子総合、学年別女子総合）
 - ② 男女各学年の優秀競技者
 - ③ 男女各総合優勝校の顧問・監督

8. その他

- (1) 競技場の開門は3日間とも7時30分とする。
- (2) 記録は、B・Dゲートの記録掲示板に掲示する。
- (3) テント等について
 - ① テント、シート等の設置できる場所は以下に限る。
 - (ア) メインスタンド下コンコース（2階通路）は、シートのみとし、テントの設置は禁止する。
 - (イ) バックスタンド上段通路、サイドスタンド中段通路より上の座席、競技場内外の場所取り抽選は大会前日（9月20日15:00）の抽選によって行なう。抽選により指定された場所は、1校1か所のみとし、最終日まで同じ場所を使用できる。指定されている範囲を越えての場所取りは禁止する。
 - (ウ) 場所取りの抽選に参加しない学校や抽選にはずれた学校でテント、シートを使用したい場合は、バックスタンドの各府県に割り当てられた部分のみ許可する。
 - ② 競技場外に設営しているテント、シート等は毎日撤去して持ち帰ること。
 - ③ 横断幕を設置する入場頃は9月20日16:00に抽選で決定する。抽選場所は室内練習場とし設置場所、方法については役員の指示に従うこと。
 - ④ のぼりについては、メインスタンド以外の中段通路の手すりに設置してもよい。ただし、監視カメラに支障がある場合は移動・撤去してもらうことがある。
- (4) 応援はスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わないこと。また、集団での連呼応援は自粛すること。（特にトラック競技のスタート直前は注意すること）
- (5) 更衣室の使用は更衣のみとし、使用後はすみやかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。
- (6) 競技中に起こったケガについては、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (7) スタンド等使用した場所は、各校で責任をもって清掃し、ゴミは指定の集積場所（バケツ）に分別して捨てること。（ビン・缶・ペットボトルや可燃物など、全てのゴミはビニール袋から出して指定のバケツへ分別して入れること）
- (8) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、必ずスタンド下の通路を使用すること。また、通行禁止や使用禁止の表示がある場合は、厳守すること。
- (9) 盗撮行為等を防止するために「撮影禁止区域」をスタンドに定めるので、関係者もその場所からの撮影を控えるようにすること。
- (10) 貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に充分注意すること。